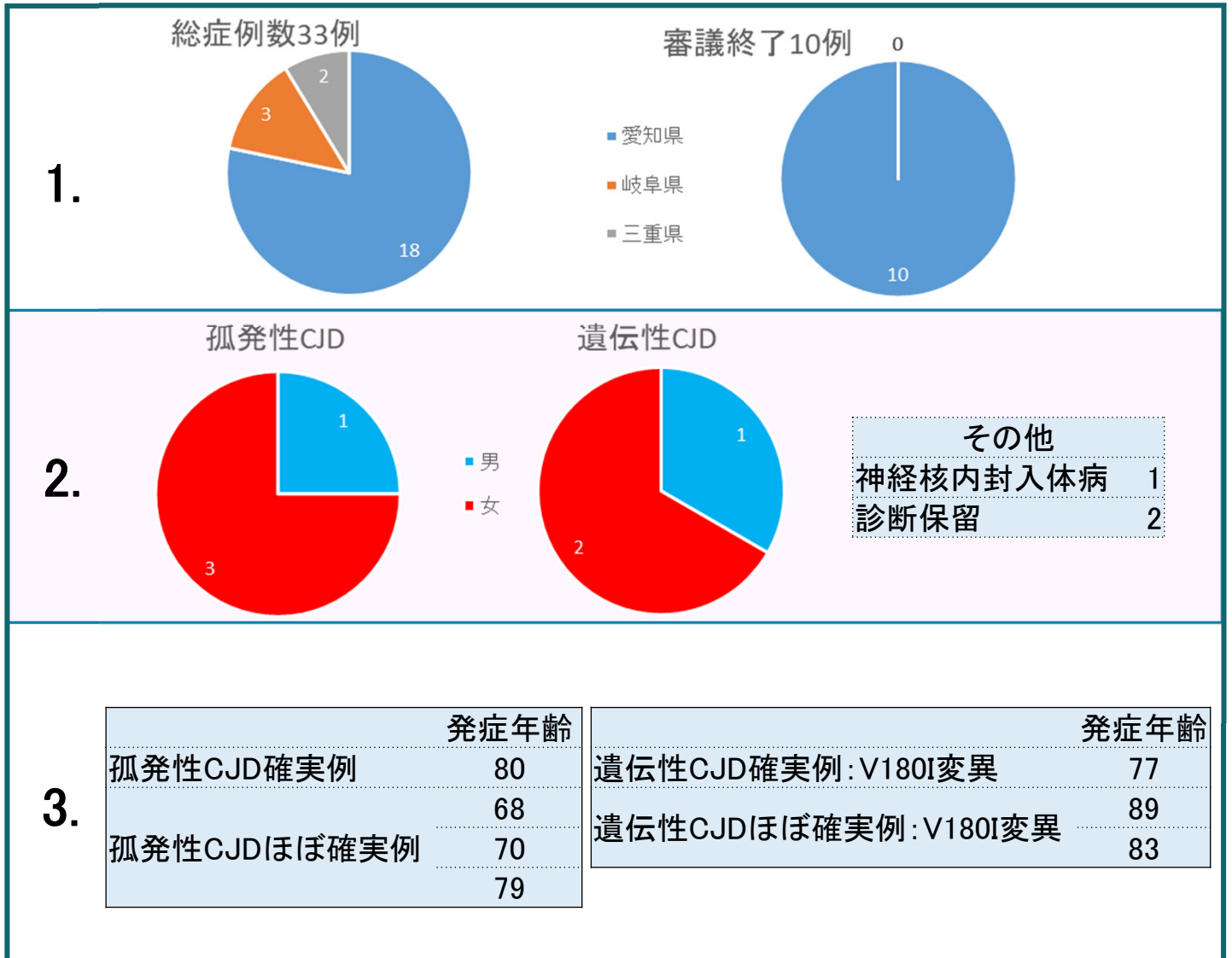


東海ブロックのプリオン病サーベイランス調査報告

研究分担者：愛知医科大学医学部神経内科学 道勇 学



解 説

- 平成30年度に東海ブロックへの調査依頼は33例。そのうち、審議を終了した症例は10例。
- 審議にて、孤発性CJDは、確実例1例、ほぼ確実例3例。遺伝性CJDは確実例1例、ほぼ確実例2例、すべてV180I変異。プリオン病以外が1例、診断保留が2例。と判定された。
- 孤発性CJD、遺伝性CJDのいずれも女性の症例が多く、すべての症例が65歳以上であった。